平成30年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	421　子どもの遊び場設置事業		
戦略プラン		担当部課係名	こども部こども育成課 こども施設係
総合戦略		新規・継続	継続
		事業分類	任意的事務
予算科目	01-030201-13　子どもの遊び場設置に要する経費	市民参加	■　共有、理解
要求区分	事業期間		□　企画・立案、計画
個別計画	次世代育成支援対策行動計画・後期計画		□　実行
			□　評価・検証
根拠法令		事業体制	補助金（直接）
		市長公約	

概要

事業の目的

子供に安全な遊び場を与え、心身の健全な発達に資することを目的として、区会等が行う子供の遊び場の遊具の設置及び修繕に要する経費を補助する。

事業の概要

・区会等からの遊具等の設置及び修繕等の申請を受け付し、補助の要件に該当する場合に補助金の交付を決定し、実績報告を受け補助金額の確定を行う。
遊具の設置及び修繕費用の２分の１を補助
ただし、設置500千円、修繕50千円を限度

評価

事業計画

・子供の遊び場設置事業について市報に年２回（８月、12月）掲載し、周知を図る。

活動実績

・広報つくば８月号及び12月号に「子供の遊び場設置事業補助金」の制度を案内する記事を掲載し、当該補助金を活用してもらえるよう周知した。

成果

区会から７件の相談があったが、申請、交付までには至らなかった。
補助金交付の実績はなかった。

課題

更なる周知を行うとともに、場合によっては交付基準の見直しを考えていく必要がある。

改善目標（ R01年度にむけて）

今後は、時代の変化や区会の皆様のニーズを踏まえ、補助内容及び費用対効果など様々な観点から調査・研究をしていく。

指標の推移

1	指標名	各区会等が管理する遊具の設置及び修繕件数　（　件　）						活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	6.0	1.0	1.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	（　）						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目				平成29年度	平成30年度	令和 1年度	令和 2年度
				(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金		(千円)	0	0	0	0
	県支出金		(千円)	0	0	0	0
	地方債		(千円)	0	0	0	0
	その他		(千円)	0	0	0	0
	一般財源		(千円)	164	0	600	0
事業費計			(千円)	164	0	600	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	0.03	0.10		
		時間外勤務	(時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等		(有無)	無	無		
人件費			(千円)	214	706		
事業コスト			(千円)	378	706		

R01年度当初積算根拠	負担金補助：子供の遊び場設置事業補助金 設置500,000円×１＝500,000円 修繕 50,000円×２＝100,000円

予算の方向性		
維持	理由	

方向性

市民ニーズ 市民ニーズと今後の見込み	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況 事業が計画的に進んでいるか	4	計画通りに進めることができた。
市の関与 行政が関与する必要性について	2	今後も市が実施するほうがよい。
優先度 事業の優先度はどうか	2	継続して実施する必要がある。

平成30年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	422　公立保育所施設維持管理事業		
戦略プラン		担当部課係名	こども部こども育成課 こども施設係
総合戦略		新規・継続	継続
		事業分類	任意的事務
予算科目	01-030204-13 保育所管理に要する経費	市民参加	□　共有、理解
要求区分	事業期間		□　企画・立案、計画
個別計画	つくば市耐震改修促進計画		□　実行
			□　評価・検証
根拠法令		事業体制	一部委託
		市長公約	

概要

事業の目的	事業の概要
入所児童等の安全を確保する。	・保育所機械警備委託及び消防施設点検等の施設管理委託を実施する。 ・建築基準法第12条に基づく建築物及び建築設備劣化状況の点検（福祉施設定期点検）を実施する。 ・保育所施設の修繕工事の実施する。 ・つくば市耐震改修促進計画に基づいて実施した耐震診断の結果において、耐震性に疑いが残る公立保育所の方向性を検討する。

評価

事業計画	活動実績
・未耐震の保育所については、耐震診断の指摘箇所の補強工事を実施し、施設の安全性の向上を図るとともに、建て替えを含めた事業計画を作成し実施する。 ・経年劣化の著しい保育所については、空調機の不調や漏水などの不良箇所について適切な修繕をするとともに、長寿命化を図るため計画的に大規模改修工事を実施する。（沼田保育所屋根及び外壁改修工事、大穂保育所屋根及び外壁改修工事を実施予定）	・老朽化し、かつ、土砂災害の恐れがあった北条保育所を移転新設するための実施設計を行った。 ・経年劣化の著しい保育所については、空調機などの施設の不良箇所を修繕するとともに、長寿命化を図る目的で大規模改修工事（沼田保育所と大穂保育所の屋根及び外壁の塗装工事）を行った。

成果	課題
新北条保育所の建設計画に着手した。 空調機を11台入れ替えするなど、猛暑対策を図った。 例年の計画どおり、年間２つの保育所の大規模改修工事を実施し、長寿命化が図れた。	施設の老朽化が進んでいる。児童の安全な保育環境を確保するために、施設の長寿命化や改良を進める必要がある。

改善目標（ R01年度にむけて）

安全な保育環境を確保するために、よりきめ細やかな施設の維持・修繕を図っていく。

指標の推移

1	指標名	保育所数				（　か所　）		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0
	実　績	23.0	23.0	23.0	23.0	22.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名					（　　）		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名					( )		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名					( )		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名					( )		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目				平成29年度	平成30年度	令和 1年度	令和 2年度
				(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金		(千円)	0	0	0	0
	県支出金		(千円)	0	0	0	0
	地方債		(千円)	0	0	0	0
	その他		(千円)	53,970	39	120,036	0
	一般財源		(千円)	193,535	234,269	238,355	0
事業費計			(千円)	247,505	234,308	358,391	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	1.30	1.70		
		時間外勤務	(時間)	238.00	293.54		
	臨時職員等		(有無)	無	無		
人件費			(千円)	9,841	12,726		
事業コスト			(千円)	257,346	247,034		

R01年度当初積算根拠

旅費：建設工事に係る工場検査時の交通費200千円
需用費：備品及び施設修繕料13,255千円
役務費：汲取手数料等341千円、火災保険料689千円
　委託料：施設管理委託料31,161千円、設計委託料9,289千円
　施設定期点検委託料2,200千円、工事管理委託料6,034千円
使用料及び賃借料：土地、ＡＥＤ、複写機等12,331千円
　真瀬保育所園舎賃借料20,711千円
工事請負費：建築工事103,048千円、土木工事31,986千円
　修繕工事68,121千円
備品購入費：15,142千円
負担金補助：上水道過入金・下水道受益者負担金755千円
償還金利子及び割引料：43,128千円

予算の方向性	理由	
維持		

方向性

市民ニーズ 市民ニーズと今後の見込み	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況 事業が計画的に進んでいるか	4	計画通りに進めることができた。
市の関与 行政が関与する必要性について	2	今後も市が実施するほうがよい。
優先度 事業の優先度はどうか	3	他の事業に優先して進める必要がある。

平成30年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	423　児童館運営事業		
戦略プラン		担当部課係名	こども部こども育成課 放課後育成係
総合戦略		新規・継続	継続
		事業分類	任意的事務
予算科目	01-030205-11　児童館運営に要する経費	市民参加	■　共有、理解
要求区分	事業期間		□　企画・立案、計画
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン		□　実行
			□　評価・検証
根拠法令		事業体制	職員のみ
		市長公約	

概要

事業の目的

子供同士が共に遊びながら自主性・創造性及び協調性を養い豊かに成長していけるよう指導・援助を行う。また、地域組織活動団体等の子育て支援団体が円滑に活動できるよう助成を行う。

事業の概要

・一般来館児童の遊びの指導
・乳児及び保護者等の交流を助成
・児童館利用者の怪我等に対応するため施設利用者傷害保険へ加入運営に必要な消耗品の購入及び備品等の修繕
・地域組織活動（母親クラブ）の育成及び合同事業の実施

評価

事業計画

・児童クラブ室を増設することにより，児童館の過密状態を緩和する。
・母親クラブ会員の募集の協力を行う。

活動実績

・吉沼、上郷、栄、竹園西、谷田部の５児童館の敷地内に、児童クラブ室を増設するための実施設計を行った。
・吾妻小学校の空き教室を児童クラブ室へ転用するための工事を行い、７月から利用を開始した。
・母親クラブの募集案内を広報つくば９月号に掲載した。
・市役所庁内と児童館の窓口で募集案内チラシを配布
・母親クラブ会員　964人（前年度比25人増）

成果

吉沼、上郷、栄、竹園西、谷田部の児童クラブ増設に伴う実施設計、吾妻小学校の空き教室を児童クラブ室へ転用するための工事を行い、児童館の過密解消に係る取組を進めることができた。

課題

過密状態になっている児童館が他にもあるため、引き続き緩和に向けた取組を推進していく必要がある。
母親クラブの会員の担いで不足が生じている状況。会員の増員に向け、募集方法等の検討が必要である。

改善目標（ R01年度にむけて）

児童クラブ室を増設することにより、児童館の過密状態を緩和する。
母親クラブ会員の募集の協力を行う。

指標の推移

1	指標名	児童館利用者数				（　人　）		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	400,749.0	415,855.0	442,304.0	451,730.0	424,372.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名					（　）		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名				( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名				( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名				( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目				平成29年度	平成30年度	令和 1年度	令和 2年度
				(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金		(千円)	0	0	0	0
	県支出金		(千円)	0	0	0	0
	地方債		(千円)	0	0	0	0
	その他		(千円)	0	0	0	0
	一般財源		(千円)	91,198	40,005	46,464	0
事業費計			(千円)	91,198	40,005	46,464	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	1.35	1.25		
		時間外勤務	(時間)	252.00	120.00		
	臨時職員等		(有無)	有	有		
人件費			(千円)	10,231	9,120		
事業コスト			(千円)	101,429	49,125		

R01年度当初積算根拠	報償費：指導員謝礼　333千円 旅費：研修時交通費　10千円 需用費：消耗品費3,376千円、燃料費220千円、食糧費48千円、修繕料1,139千円 役務費：通信運搬費3,013千円、手数料195千円、保険料881千円 委託料：大曽根児童館指定管理委託料28,000千円 使用料及び賃借料：テレビ受信料338千円、賃借料（複写機、印刷機、駐車場、ＡＥＤ）4,235千円 備品購入費：図書及び児童用備品購入費1,229千円 負担金補助：母親クラブ補助金189千円×17団体＝3,213千円

予算の方向性		
拡充	理由	過密状態になっている児童館について、児童クラブ室の増設等による緩和措置を速やかに推進していく必要があるため。

方向性

市民ニーズ 市民ニーズと今後の見込み	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況 事業が計画的に進んでいるか	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
市の関与 行政が関与する必要性について	2	今後も市が実施するほうがよい。
優先度 事業の優先度はどうか	2	継続して実施する必要がある。

平成30年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	424　放課後児童クラブ事業					
戦略プラン	Ⅰ	1	2	子育て環境の整備	担当部課係名	こども部こども育成課 放課後育成係・こども施設係
総合戦略					新規・継続	継続
					事業分類	任意的事務
予算科目	01-030205-12	放課後児童対策に要する経費			市民参加	■　共有、理解
要求区分		事業期間				□　企画・立案、計画
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン					□　実行
						□　評価・検証
根拠法令					事業体制	一部委託
					市長公約	

概要

事業の目的	事業の概要
放課後に保育を受けることができない、児童（１年生から６年生）に対して、安全・安心な居場所を提供する。	・放課後に保育を受けることができない児童に対して、公営のみならず民間事業者が運営する児童館を活用しながら、遊びを主とした生活の場・活動の場を提供する。 ※行政改革アクションプラン「17 放課後児童クラブ事業の民間活用」該当事業

評価

事業計画	活動実績
・児童館敷地内に児童クラブ室を増設するための実施設計を行う。 ・学校施設の借用のため教育局と協議を行う。 ・民間事業者に対し、整備補助金制度をホームページなどで周知し、新規開設を促す。 ・民間事業者に対し、次年度の整備補助金の申請を受理する。	・吉沼、上郷、栄、竹園西、谷田部児童館について、児童クラブ室を増設するための実施設計を行った。 ・児童の大幅な増加が見込まれる学園の森及びみどりの学園児童クラブについて、新たに専用施設の増設を行った。 ・２つの民間事業者が整備補助金を活用し、児童クラブ室を建築した。 ・葛城・沼崎小学校において、教育局や児童クラブ保護者会と協議を行い次年度から学校施設を児童クラブ室として借用し、公営化することができた。

成果	課題
児童数の増加が著しいTX沿線の２つの児童クラブと面積要件を超過して児童を受け入れている５つの児童クラブについては、児童クラブ室の増設を行い、今後の受入枠の拡充を図る見通しがついた。	面積要件を超過して児童を受け入れている児童クラブ等で、余裕教室の確保やクラブ室の建築が困難な小学校区については、引き続き新たな拡充策を検討する必要がある。

改善目標（ R01年度にむけて）

高まる児童クラブニーズに対応するため、公設児童クラブの整備や民間事業者支援を急速に行っていく必要がある。

指標の推移

	指標名	児童クラブ員数				（　人　）		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
1	目標値	2,122.0	2,346.0	2,517.0	2,688.0	3,287.0	3,490.0	0.0
	実　績	2,175.0	2,606.0	2,843.0	3,090.0	3,801.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標名	民間児童クラブの利用人数				（　人　）		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
2	目標値	0.0	0.0	1,840.0	2,040.0	2,400.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	1,723.0	1,924.0	1,966.0	0.0	0.0

	指標の概要	※行政改革アクションプラン「17 放課後児童クラブ事業の民間活用」該当指標

3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目				平成29年度	平成30年度	令和 1年度	令和 2年度
				(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金		(千円)	302,420	174,308	353,570	0
	県支出金		(千円)	155,752	152,088	237,361	0
	地方債		(千円)	50,800	0	122,900	0
	その他		(千円)	46,840	61,160	86,794	0
	一般財源		(千円)	159,415	44,791	166,437	0
事業費計			(千円)	715,227	432,347	967,062	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	3.00	3.50		
		時間外勤務	(時間)	640.00	682.00		
	臨時職員等		(有無)	有	無		
人件費			(千円)	22,936	26,393		
事業コスト			(千円)	738,163	458,740		

R01年度当初積算根拠	旅費：建設工事に係る工場検査時の交通費：256千円 需用費：消耗品費1,135千円、光熱水費7,615千円、修繕料2,557千円等 役務費：通信運搬費1,614千円、傷害保険料等1,360千円等 委託料：施設管理委託料5,539千円、設計委託料8,888千円、児童クラブ運営委託料480,682千円、 　監理委託料14,105千円 使用料及び賃借料：児童ｸﾗﾌﾞ施設等賃借料34,280千円 工事請負費：建築工事322,561千円 備品購入費：9,259千円 負担金補助：民間放課後児童ｸﾗﾌﾞ施設整備補助19,921千円 　放課後児童支援員ｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ処遇改善事業補助53,558千円 扶助費：放課後児童健全育成事業助成金3,120千円

予算の方向性	理由	高まる児童クラブニーズに対応するため、公設児童クラブの整備や民間事業者支援を急速に行っていく必要があるため。
拡充		

方向性

市民ニーズ 市民ニーズと今後の見込み	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況 事業が計画的に進んでいるか	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
市の関与 行政が関与する必要性について	2	今後も市が実施するほうがよい。
優先度 事業の優先度はどうか	2	継続して実施する必要がある。

平成30年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	425　児童館施設維持管理事業		
戦略プラン		担当部課係名	こども部こども育成課 こども施設係
総合戦略		新規・継続	継続
		事業分類	任意的事務
予算科目	01-030205-13　児童館管理に要する経費	市民参加	□　共有、理解
要求区分	事業期間		□　企画・立案、計画
個別計画	児童館整備計画		□　実行
			□　評価・検証
根拠法令	児童福祉法	事業体制	職員のみ
		市長公約	

概要

事業の目的	事業の概要
地域の子育て支援の拠点となる施設である児童館の施設管理委託及び修繕等の維持管理	・児童館機械警備委託及び消防施設点検等の施設管理委託福祉施設定期点検実施児童館施設の修繕工事の実施 ・耐震診断の結果に基づき、補強工事が必要な場合には実施する。

評価

事業計画	活動実績
・空調機の不調や漏水などの修繕箇所について迅速に適切な修繕をする。 ・施設の長寿命化を図るため計画的に大規模改修工事を実施する。（桜南児童館屋根及び外壁改修工事、栄児童館屋根及び外壁改修工事を実施予定）	・空調機などの施設の不良箇所を修繕するとともに、施設の長寿命化を図る目的で大規模改修工事（桜南児童館と栄児童館の屋根及び外壁の塗装工事）を実施した。 ・児童館の和式トイレを洋式化する工事（９児童館、25か所）を実施した。

成果	課題
雨漏りの修繕、空調機の入替え、和式便器の洋式化など、老朽化した施設の修繕を進めることができた。	施設の老朽化が進んでいる。児童を中心とした利用者の安全・安心な施設環境を確保するため、施設の維持管理を進める必要がある。

改善目標（ R01年度にむけて）

安全・安心な施設環境を確保するため、よりきめ細やかな施設の維持・修繕を図っていく。

指標の推移

1	指標名	大規模改修児童館数				（　館　）		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	1.0	2.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実　績	1.0	2.0	1.0	2.0	2.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名					（　）		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目				平成29年度	平成30年度	令和 1年度	令和 2年度
				(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金		(千円)	0	0	0	0
	県支出金		(千円)	0	0	0	0
	地方債		(千円)	0	0	0	0
	その他		(千円)	0	0	0	0
	一般財源		(千円)	81,318	91,037	91,010	0
事業費計			(千円)	81,318	91,037	91,010	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	1.22	1.00		
		時間外勤務	(時間)	224.00	175.42		
	臨時職員等		(有無)	無	無		
人件費			(千円)	9,237	7,493		
事業コスト			(千円)	90,555	98,530		

R01年度当初積算根拠	需用費：光熱水費11,980千円、修繕料6,540千円 役務費：火災保険料326千円 委託料：施設管理委託料7,370千円、設計委託料2,596千円、施設定期点検委託料1,650千円、 　監理委託料1,518千円 使用料及び賃借料：土地賃借料等1,821千円 工事請負費：児童館修繕工事54,848千円 備品購入費：2,311千円

予算の方向性		
維持	理由	

方向性

市民ニーズ 市民ニーズと今後の見込み	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況 事業が計画的に進んでいるか	4	計画通りに進めることができた。
市の関与 行政が関与する必要性について	2	今後も市が実施するほうがよい。
優先度 事業の優先度はどうか	2	継続して実施する必要がある。

平成30年度　事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	426　放課後子供教室推進事業		
戦略プラン		担当部課係名	こども部こども育成課 放課後育成係
総合戦略		新規・継続	継続
		事業分類	任意的事務
予算科目	01-100501-18　放課後子供教室推進に要する経費	市民参加	■　共有、理解
要求区分	事業期間		□　企画・立案、計画
個別計画			□　実行
			□　評価・検証
根拠法令		事業体制	補助金（間接）
		市長公約	

概要

事業の目的	事業の概要
小学校及び義務教育学校の余裕教室等を活用し、地域住民の参画を得て、子供たちに様々な体験活動や交流活動の機会を提供する。情操教育・世代間交流の場となるだけでなく、地域全体で子供たちを育てていくという意識の向上を図る。	・市内小学校及び義務教育学校において、余裕教室等を利用し、全児童対象に放課後子供教室を開催する。地域住民の参画を得て、様々な体験活動や交流活動等を行い、豊かな遊びと学びの機会を提供する。

評価

事業計画	活動実績
・秀峰筑波児童クラブ施設を利用し、学校休業日以外の日について、放課後子供教室を毎日開催する。	・市内小学校29校・義務教育学校4校・茨城県立つくば特別支援学校１校、児童館５か所、交流ひろば、40か所で放課後子供教室を217回実施 参加児童数は、11,310人 ・H30年度に秀峰筑波児童クラブ施設2階に整備した「秀峰筑波放課後交流ひろば」において、活動日数189日の中で来館児童数2,121人 放課後子供教室の実施回数79回、参加児童数743人

成果	課題
H29年度末に筑波地区における７校の小学校が閉校し、秀峰筑波義務教育学校が開校したと同時に秀峰筑波児童クラブを整備。児童クラブ施設２階に放課後子供教室を開催できる「秀峰筑波放課後交流ひろば」を開設し、図書室等を放課後の居場所づくりとして、一体的な取組を実施できた。	市内小学校・義務教育学校等で開催している、放課後子供教室の実施回数は、放課後も居場所づくりとしての定期的な実施回数には至っていない現状である。

改善目標（ R01年度にむけて）

市内小学校・義務教育学校等で開催しているが、放課後の居場所づくりとして放課後子供教室の定期的な開催に向け改善すべく学校・地域協力者との連携に努める。

指標の推移

1	指標名	実施対象学校数				（　　）		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	33.0	38.0	37.0	37.0	34.0	34.0	34.0
	実　績	33.0	38.0	38.0	38.0	34.0	34.0	0.0
	指標の概要	H30年度の指標名の減少については、筑波地区において、H29年度末に小学校７校が閉校し、H30年度に秀峰筑波義務教育学校として合併したことによる減少である。						

2	指標名					（　　）		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名					( )		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名					( )		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名					( )		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実　績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目				平成29年度	平成30年度	令和 1年度	令和 2年度
				(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金		(千円)	0	0	0	0
	県支出金		(千円)	2,123	2,545	6,107	0
	地方債		(千円)	0	0	0	0
	その他		(千円)	0	0	0	0
	一般財源		(千円)	5,591	2,054	5,051	0
事業費計			(千円)	7,714	4,599	11,158	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	1.50	1.25		
		時間外勤務	(時間)	200.00	92.50		
	臨時職員等		(有無)	無	有		
人件費			(千円)	11,166	9,052		
事業コスト			(千円)	18,880	13,651		

R01年度当初積算根拠	報償費：放課後子供教室コーディネーター等謝礼　7,182千円 旅費：研修時交通費　11千円 需用費：放課後子供教室用消耗品等　2,205千円 役務費：傷害保険料　249千円 備品購入費：1,511千円

予算の方向性	理由	
拡充		放課後子供教室及び放課後児童クラブの一体的な実施を進めるため、平成31年度に供用開始する学園の森及びみどりの学園児童クラブの増設施設の一部を利用し、放課後子供教室を定期的に実施したいと考えている。

方向性

市民ニーズ 市民ニーズと今後の見込み	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況 事業が計画的に進んでいるか	4	計画通りに進めることができた。
市の関与 行政が関与する必要性について	2	今後も市が実施するほうがよい。
優先度 事業の優先度はどうか	2	継続して実施する必要がある。